

## 尾張旭市新池交流館指定管理者の候補者の選定結果

令和4年3月31日に新池交流館の指定管理期間が満了することから、令和4年4月1日以降についても引き続き指定管理者に管理させることとし、令和3年7月1日から指定管理者の募集を行いました。応募のあった1団体について、指定管理者選定会議を設置し、指定管理者の候補者を選定しました。

指定管理者の指定は、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があることから、令和3年12月尾張旭市議会定例会に指定管理者の指定に係る議案を提出します。

以下に記載している内容は、候補者の選定結果です。

### 1 対象施設

尾張旭市新池交流館

### 2 選定会議の経緯

	開催日	主な内容
第1回	令和3年9月22日(水)	書類審査
第2回	令和3年10月12日(火)	プレゼンテーション及び候補者の選定

### 3 指定管理者の候補者

名古屋市中区栄一丁目16番6号

シンコースポーツ中部株式会社

### 4 審査基準及び審査結果

審査基準	評価点	
	配点	シンコースポーツ中部株式会社
(1) 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上 (①利用者の平等利用の確保、②サービス向上)	100	78
(2) 公の施設の効用の最大発揮及び管理経費の縮減 (①施設の効用の発揮、②管理経費の縮減)	175	137
(3) 管理を安定して行う物的及び人的能力 (①物的能力、②人的能力)	125	84
(4) その他の要件 (①自主事業、②その他提案、③運営実績、④地域支援業務に対する考え方)	100	80
評価点合計	500	379
候補者順位		1

## 5 選定理由

審査基準に照らして選定を行った結果、次の理由により、シンコースポーツ中部株式会社を  
 適当と認められる団体として選定し、指定管理者の候補者とします。

<p>(1) 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上 (①利用者の平等利用の確保、②サービス向上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平等性・公平性の確保や高齢者や障がい者等について職員の意識教育を行うなど、全ての方が利用しやすい施設とするための取組が示されており、より質の高い施設運営が期待できる。</li> <li>○ 地域に開かれた施設として、利用者のニーズを的確に把握し、利用者にとって使いやすい施設づくりとなる取組が示されている。</li> <li>○ 発生したトラブルに対し、速やかに対処するとともに、同じトラブルが生じないよう職員間で情報を共有する体制が示されている。</li> </ul>
<p>(2) 公の施設の効用の最大発揮及び管理経費の縮減 (①施設の効用の発揮、②管理経費の縮減)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ より多くの市民に利用してもらえよう、施設ホームページのリニューアルなど利用拡大を図るための具体的な提案が示されており、利用者の増加が期待できる。</li> <li>○ 市民に愛される施設として、地域で出張教室等を行うアウトリーチ活動やボランティアとの関係構築など、地域と連携した取組が示されており、地域の交流促進が期待できる。</li> <li>○ 自然災害発生時に、市や関係機関等と協力して利用者や地域住民の支援を行うための体制が示されている。</li> <li>○ 施設を安心して利用してもらえよう、ハード面・ソフト面の両方から感染症対策に係る取組が示されている点が評価できる。</li> <li>○ 消耗品の一括購入などのスケールメリットのほか、外部委託の見直しなどの取組が示されており、管理経費の縮減が期待できる。</li> </ul>
<p>(3) 管理を安定して行う物的及び人的能力 (①物的能力、②人的能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は営業損失が出ているものの、今年度の8月時点では営業利益を出している。自己資本比率は過去3年間において4割と非常に高い水準であり、指定管理を行わせる上で、継続的かつ安定的な経営が可能であると判断できる。</li> <li>○ 公共施設の従事者であることを意識した人材育成・研修の体制が構築されている。また、利用者のサービス向上に直結する資格取得制度を設けているなど、利用者を第一に考えた質の高い施設運営が期待できる。</li> </ul>
<p>(4) その他の要件 (①自主事業、②その他提案、③運営実績、④地域支援業務に対する考え方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自主事業については、施設の設置目的に合致した内容はもとより、市民のニーズを踏まえ、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた誰もが参加しやすい事業が企画されている。</li> <li>○ 利用実績を分析し、一般利用者への影響が最小限かつ稼働率の低い時間帯に教室・講座を開催するなど、施設を最大限活用するための取組が示されている。</li> <li>○ 教室・講座をいつでもどこでも申込予約ができるシステムの導入が提案されており、利用者の利便性の向上が期待できる。</li> <li>○ 地域の活性化に寄与する取組として、市民の雇用や市内事業者の活用が明示されており評価できる。</li> </ul>